

おみせ・イベント・相談会～お休み頂く企画もありますが、営業しているものもあります

	べらしお福祉住吉東店	コブン・カフェ	手づくりショップパンプ	Café コロたま
こんなお店	おいしい塩ラーメンが名物	おいしいコーヒーとサンドイッチがですか	オガリ作業所のお店。パンやパウンドケーキが売ります	阪和線我孫子町駅近く。安くておいしいランチをどうぞ
開店曜日	月～金	月～金	月～金	月～金
開店時間	11:30～13:30	9:30～14:30	10:00～16:00	11:30～14:30
備考	祝日も開店します	祝日(11日・23日)はお休みです		
	FamilyFriendlyらふら	みんなのマーケットるびなす	田辺大根堂	その他の「カフェ」「食堂」関係のイベントはしばらくお休みさせていただきます。申し訳ございません
こんなお店	子育て支援のグッズ販売しています	堺市南区高倉台の就労支援スーパーです	なごみ玄関でとれたて野菜と壱岐の乾物販売	
日にち	火～土	月～土	毎週木曜日	
時間	10:00～16:00	10:00～17:00	10:00～15:00	
備考	祝日も開店します			

「うさぎとぼく」にも置いてあります
コーヒードーナツ 150円です。



パンプ今月の一品

「うさぎとぼく」のご紹介

地下鉄昭和町駅近くの長屋にあるカフェ「うさぎとぼく」は、SNSでも人気の「うさぎのラテアート」が看板商品。カフェに添えられるビスケットもうさぎ型です。店内もうさぎグッズであふれています。

「パンプ」の各種商品も「うさぎとぼく」に置かせていただいています。お近くの方はぜひくつろぎにいらしてくださいね



◇うさぎとぼく◇
おおさかしあべのくはんなんちよう
大阪市阿倍野区阪南町 3-9-10
えいぎよう ごぜんじ ごごじ
営業：午前9時～午後6時
でんわ
電話：06-7502-2155

ライフサポートだより

(社福) ライフサポート協会
〒558-0054
大阪市住吉区塚山5-10-15
TEL 06-6676-0753
ホーム <http://www.lifesupport.or.jp>
メール info@lifesupport.or.jp

新型コロナウイルス対応で四恩学園さんにご協力いただきました

同じ住吉区内の社会福祉法人四恩学園さん運営の特別養護老人ホーム「ふれ愛の館しおん」にて11月下旬から新型コロナウイルスの感染者が入居者・職員と相次いで発生したことを受けて、ライフサポート協会「なごみ」「きずな」から3名の職員が、12月12～18日の期間で応援に行きました。以下は「なごみ」の門馬悠樹による報告になります。

「しおん」では感染者が発生したフロアの担当職員はホテルでの宿泊になり、勤務中もそれ以外のフロアと接触を完全に断つようにしていました。私たちは「検査で陰性だった方」のみのフロアに入ったのですが、そこでも、防護服・ゴーグル・手袋着用で、なにかする毎に手袋交換、手洗い、手指消毒を行います。コップやお箸など口にするものは使い捨て対応で「生活の場」にしては違和感のある状態ではありました。



防護服を着てケアにあたる職員



「しおん」では看護師と施設長で災害対策本部を立ち上げ、保健所との連絡を担っておられました。防護服の着用や消毒方法に保健所から変更指示もスムーズに伝達されていました。

乳児院の職員の方々は、特養職員さんに向けて『コロナに負けるな』応援メッセージカードを作成されておられ、理事長自ら特養職員から見える場所にクリスマスツリーの飾りつけされておられました。四恩学園さん一丸になっての行動が実を結び、ちょうどクリスマスイブの頃には感染も収束しました。

何よりも入居されているお年寄りが「お散歩や友達とのおしゃべりができなくなった」と話されていたように我慢もされておられました。お年寄りの「ふだんの暮らし」を守るため、私たちも感染防止に気を引き締めていかなくてはと思っています。

新型コロナ流行のもとではありましたが、2021年の年始をまずはお祝いしましょう…ということで特養なごみでは正月3が日は豪華なお食事が並びました。もちろん、日頃からの感染対策もじゅうぶんおこなったうえです。施設内での感染は発生してはいませんが通勤してきた職員の更衣とマスク交換、通常以上の衛生管理を徹底しています。

入居者さんは呼吸器に病があり、酸素の装置を取り付けておられる方や、マスクをつけることが困難な方もおられます。排せつや食事の介助も一定近づかないとできないため、介護職員も緊張感をもっていますしばらくは予断を許さない状況が続きますが、その中でも生活を楽しめるように様々な形で考えてまいります。



特養なごみの新年会



1月6日のMBS毎日放送で「なごみ新年会」

ほか高齢者施設での取り組みについて放映されましたので、その記事から抜粋して掲載いたしました。



実践報告会実施しました

12月19日(土)にライフサポート協会の「実践報告会」を法人職員・他事業所職員など、密になるのを防ぐためのリモート参加も多数の中、開催いたしました。

障がい事業部は「こころの相談ネットふうが」から「本人の生きる力を信じて～自己選択・自己決定」というタイトルで相談対応の報告がありました。相談員が正解を提示するのではなく、「伴走型支援」といって、本人が気づき、本人自身の言葉で語れるように対話を繰り返す取り組みには、信頼関係を築く時間も必要ですし、ある意味での失敗経験も学びになることがあります。「ともに考える」支援を今後とも取り組んでいきたいと思っております。



高齢事業部は「特養なごみ」からMさんの看取り介護とご家族とのやり取りの報告でした。「特養では入居者さんと喜怒哀楽をともにできる人になる」ことを目指していますが、具体的にはどういうことなのか？が少しわかりにくいと感じていました。今回の取り組みを振り返ってみて、

ご本人やご家族と職員同士までいっしょに「ご本人の今まで・今・これから」を考える営みにその答えがあるような気がしました。

その間に法人の若手職員とハートフリーやすらぎの大橋常務理事も交えての「福祉の現場で働くこと」のトークセッションもおこないました。



クリスマスイルミネーション★じらふヘルパー

12月はクリスマスシーズンだったので、エキスポシティにイルミネーションを見に行ってきました。大きなクリスマスツリーの周りには小さなサンタさんがたくさんいました♪ 下調べもばっちり「観覧車乗りたい！」とリクエストもあり、上空からもイルミネーションを堪能しました^^



障がい通所(生活介護)でも実践報告会しました

12月に2回に分けて法人内の生活介護事業所(オガリ作業所・総セン通所・大領地域の家であい・大領ココロ・つみき・泉北はぴな)で実践報告会を開催しました。感染対策をしっかりと行ったうえで、6事業所の様々な取り組みや個別支援について報告し合いました。

構造化の実践、PECS(画像などを用いた支援法)の導入、重い身体・知的障がいのある方との関わり、引きこもりの方への支援、地域と協働した活動…など多岐にわたる報告となりました。報告者も若手職員が中心で、真摯にメンバーさんと向き合う姿勢や想いが感じられました。

